

つづき

津付ダムだより

津付ダムは 流水型ダムです。

「津付ダムが完成した場合のダムには、水が貯まる」と思われている方もおられるようですが、ダム完成後に水がほとんど貯まらない構造で計画しています。

このような形態のダムを流水型ダム（いわゆる穴あきダム）と呼んでおり、ダムの持つ様々な機能のうち洪水調節に特化した目的で建設される、治水専用ダムの一つの形態です。

機能や形態について歴史的にみてみますと、稲作が盛んになるにつれて狭山池（推定西暦600年頃完成）や満濃池（推定西暦700年頃完成）という土石を材料とした「ため池」が多く築造されてきました。

その後土木技術の発展によ

発行所
大船渡地方振興局土木部
津付ダム建設事務所

お問い合わせ先

〒029-2311

気仙郡住田町世田米

字川向 102-1

TEL 0192-22-8182

FAX 0192-46-3715

津付ダム公式ホームページ

[http://www.pref.](http://www.pref.iwate.jp/~hp4580)

[iwate.jp/~hp4580](http://www.pref.iwate.jp/~hp4580)

り、ダムの大型化が可能となり、洪水調節に加え、水道用水、工業用水の確保や水力発電等複数の目的を効率的に一つのダムで達成する多目的ダム（利水等も目的とする貯留型ダム）の建設が主流となりました。

近年、治水専用目的のダムが計画されることに伴い、流水型ダムの実績も見られるようになってきました。



↑【流水型ダムの例】平成17年度完成の
島根県・益田川ダム（貯水池側）

質問コーナー ①

（質問） 津付ダムの大規模事業評価専門委員会での評価と、新たな検証との関係は？

（回答） 津付ダム建設事業については昨年再評価を実施し、11月に大規模事業評価専門委員会より、県の評価は妥当と認められるとの答申をいただきました。ただし、付帯意見で国の方針や予算の大幅な変更が生じる場合などには、専門委員会に対して内容を報告し、随時再評価の要否について意見を聴くこととされています。津付ダムは検証対象ダムに区分されたことから、新たな基準が示された後に専門委員会に検証内容を報告し、適切な対応をしていく予定です。

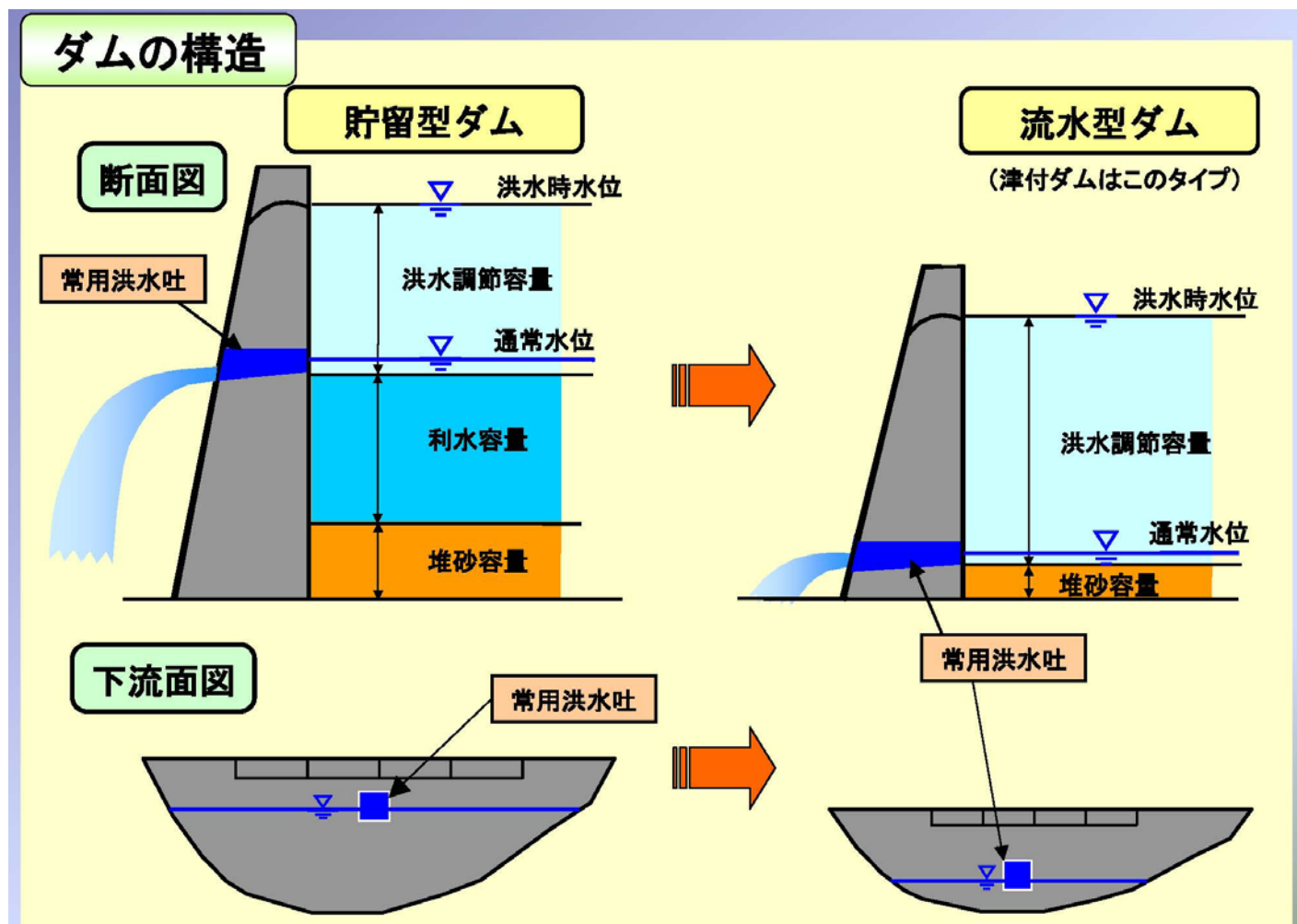
質問コーナー ②

（質問） 平成21年12月15日の「原国土交通大臣のダム事業に係る道府県知事あてのお願い」について教えてください。

（回答） このお願いによると、検証の対象としたダム事業については、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」において、今年の夏頃に中間とりまとめを行う予定である新たな基準に沿って、個別ダムの検証を行った上で、その後のダム事業の進め方について改めて判断するようにとされています。

これに対して、平成21年12月17日に全国知事会「地方の社会資本プロジェクトチーム」（リーダー・広瀬大分県知事）では、ダム事業のあり方については、地域ごとにその実情が違うものであることから、基準の決定過程や基準に沿った個別ダムの検証においては、しっかりと地域の声を聞くよう強く求めるとした声明を出しています。

貯留型ダムと流水型ダム（津付ダム）の構造について



本紙表面でもふれましたが、津付ダムは、流水型ダムという形態のダムです。

その特徴として、下記のことから考えられます。

- ・利水機能を持たないので、通常時はダムに水を貯めません。
- ・洪水時には一時的に洪水を貯留し洪水調節するため、下流河川沿いの洪水被害を軽減します。
- ・通常時はダムに水を貯めないことから、貯水池内でも普通の河川の状態が維持され、ダムの上下流において、ほぼ同じ水質が維持されます。

公式ホームページ

津付ダムの公式ホームページは、今までどおり下記のアドレスで、ご覧いただくことができます。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

河川等への油の流出事故にご注意願います。

春めいてきました。しかし暖房やボイラー等の灯油使用機会はまだ続きます。もし油漏れを発見したら、すぐに消防署・警察署・市町村・県・国の機関等に連絡をしましょう。